

# 2004

100号  
(平成16年10月号)



# 2017

250号  
(平成29年3月号)

主な内容

- 分區30年のあゆみ
- JR阪和線の上り線(天王寺方面)が「高架部」に切り替わります

懐かし  
なでしこ  
ヒストリー

主な内容

- 災害時用医薬品の「循環型備蓄」を開始しました

### 300号までの主なトピック

- 10号 (平成9年4月号)
- 83号 (平成15年5月号)
- 133号 (平成19年7月号)
- 136号 (平成19年10月号)
- 227号 (平成27年4月号)
- 262号 (平成30年3月号)
- 264号 (平成30年5月号)

タブロイド判になって掲載情報が増えました  
 全面がカラーになって読みやすくなりました  
 東住吉区マスコットキャラクターが決定しました ※1  
 東住吉区マスコットキャラクターの名前がなっぴーに決まりました ※1  
 耐震改修工事が終了し、区役所が新しく生まれ変わりました  
 東住吉区住みます芸人アンビシャスが初登場しました ※2  
 8ページから12ページに増えました



※1 区の花である「なでしこ」をモチーフに生まれたなっぴーは、活気に満ちた東住吉区の象徴です。「なでしこ」の「な」と「ピース(平和)」の「ピー」で「なっぴー」です。

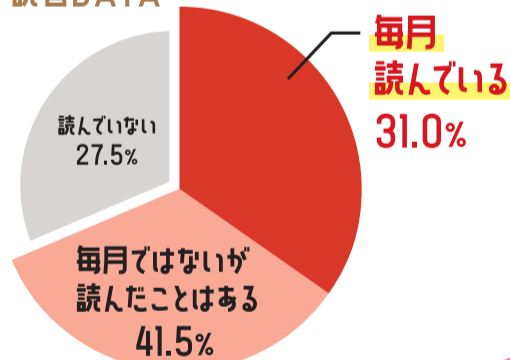


※2 平成29年11月22日に大阪市と吉本興業とで包括連携協定を結びました。東住吉区住みます芸人アンビシャス (たかし・森山)



令和2年5月号から区内全世帯・全事業所に「広報東住吉なでしこ」を配布しています。「毎月読んでいる」「毎月ではないが読んだことはある」と回答された方は、7割を超える結果となっています。年代別に見ると「45歳以上」が8割を超え、年代が上がるほど「毎月読んでいる」「毎月ではないが読んだことはある」と回答された方の割合が高くなっています。この結果に甘んじることなく、若年層にも興味を持ってもらえるようによりよい情報を発信していきます！

#### 読者DATA



データ元: 令和2年度第2回区民アンケート報告書

#### 年齢別DATA

年齢	毎月読んでいる	毎月ではないが読んだことはある	読んでいない
34歳以下	9.1%	28.4%	62.5%
35-44歳	28.3%	38.4%	33.3%
45-54歳	39.7%	39.7%	20.6%
55-64歳	35.6%	46.1%	18.3%
65歳以上	50.2%	32.9%	16.9%

400号に向けて今後きよりよい情報をお届けしていきます！ご期待ください！



## 区長の部屋

東住吉区長  
塩屋 幸男



広報東住吉「なでしこ」を発行して25年、今月で300号です。多くの区民の皆様のご協力のおかげで紙面の充実が図られてきておりますことに深く感謝申し上げます。但し、年月を重ねていくだけで満足していることはできません。貴重な財源を使っている以上、区民の皆様への十分なお役立ちができていのか、本当に必要としている方に適切な情報をお届けできているのか、人と人とのつながりやまちづくりに役立っているのかな

どが問われ続けています。毎月全ての世帯・事業所等にお届けしていますが、毎月読んでいただいている方は31%である現状があります。また、年代別に見ると、若年層の方に読んでいただいている率が低いため、若年層の方にも手に取って読んでいただけるような紙面の工夫や興味をもっていただける情報の掲載などさらなる知恵出しが必要です。今後も区民の皆様にご満足いただける広報紙づくりに努めてまいります。

